

「日本海の長期・短期環境変動と生物の応答」

日本海では約300万年前から現在までにダイナミックな環境変化が何度も起こり、それに伴い浅海生物の絶滅と進化が生じた。本講座では微小な生物を材料として、いったい何が生物の絶滅と進化を促進したか、また現在起こっている環境変動が生物の骨格にどう記録されるかを解説する。

企画教員	神谷隆宏 / 恐竜学部 教授	
対象者	中学生・高校生・大学生・一般	
講座形式	Zoom配信	
第1回	現在の日本海の構造と環境、潮間帯生物の分布パターン	日時： 7月 1日(火) 20:00 ~ 21:00 講師： 神谷隆宏 / 恐竜学部 教授
第2回	300万年前から現在にいたる潮間帯生物の絶滅・進化とその背景	日時： 7月15日(火) 20:00 ~ 21:00 講師： 神谷隆宏 / 恐竜学部 教授
第3回	近過去の日本海の環境変動と、現在の有孔虫の分布パターン	日時： 7月29日(火) 20:00 ~ 21:00 講師： 土屋正史 / 恐竜学部 教授
第4回	捕食様式（餌資源）の違いがもたらす有孔虫の進化	日時： 8月19日(火) 20:00 ~ 21:00 講師： 土屋正史 / 恐竜学部 教授
第5回	二枚貝の殻に記録される最近の暖冬と厳冬の発見	日時： 9月 9日(火) 20:00 ~ 21:00 講師： 高田裕行 / 恐竜学部 教授